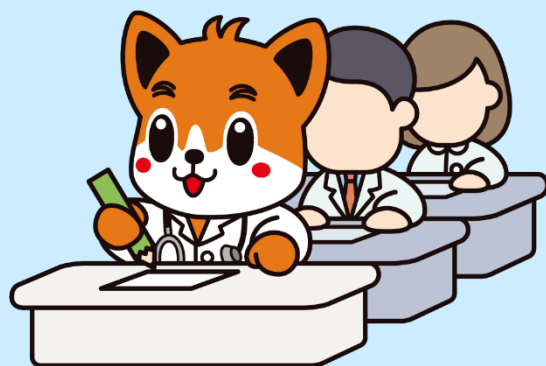


令和8年9月30日(水)
死因究明等推進計画検証等推進会議

日本医師会がおこなう死体検案研修会について



公益社団法人 日本医師会

常任理事 加藤 豊

発表者のCOI開示 : 演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業、組織、団体などはありません。

【死因究明等推進計画(令和6年7月)・施策番号3、43(再掲)】

厚生労働省において、日本医師会に委託して、検案に従事する機会の多い臨床医等を対象に、大規模災害時への対応等を含む検案能力の向上を図ることを目的とした死体検案研修会を実施しているところ、引き続き、日本医師会、関係学会等と連携して研修内容及び方法の充実を図るとともに、医療関係団体等を通じて広く医師に対して参加を働きかけ、警察等の検視または調査への立会いをする医師や検案する医師を含め、当該研修を修了した者の数を増加させる。

死体検案講習会事業(厚労省から日本医師会へ委託)

【日本医師会の取組みの要点】

○基礎と上級の2種類の研修を運営

- ・基礎＝日本医師会が平成24年度から独自に開始
- ・上級＝国立保健医療科学院の研修を平成26年度より継承

○関係学会、警察庁、厚労省と連携して運営

- ・研修プログラムは法医学関連学会との運営会議で策定
- ・警察庁からも検視官の講師派遣の協力

○内容、運営方法の進化

- ・新型コロナ対策としてe-learningを導入、その後現在も継続

死体検案 基礎研修会

- ・一般医師対象
- ・医師の基本技能としての検案一般の知識
- ・1日の講義で修了
※令和2年度よりe-learning(オンデマンド)で
実施
- ・都道府県医師会が開催する同等の研修会
について日本医師会から開催費用を補助
(平成30年度より)
- ・大規模災害、多死社会への備えとして
全ての医師に求められる知識



令和7年度 死体検案 基礎研修会

令和7年12月15日～令和8年3月11日
E-learning(オンデマンド動画)

★令和8年度研修会も準備中

【プログラム】

○死体検案に係る法令の概説、死体検案書の作成について

厚生労働省 医政局医事課
死因究明等企画調査室
埼玉県警捜査一課 検視調査室

○警察の検視、調査の視点から

○死体検案 総説

鈴木 秀人(日本法医学会 教育研究企画委員会委員長
／自治医科大学医学部解剖学講座法医学部門教授)

○死体検案の実際

大木 實(福岡市医師会 副会長)

○救急における死体検案

藤見 聡(日本救急医学会 評議員／大阪急性期・総合医療センター救急診療科)

○在宅死と死体検案

近藤 稔和(日本法医学会・日本法医病理学会 理事長／和歌山県立医科大学教授)

○死体検案における死亡時画像診断(Ai)の活用

伊藤 憲佐(オートプシーイメージング学会 理事長)

※各講義動画後に確認テストを実施

死体検案 上級研修会

- 日常的に検視立会、検案を担当している、または今後担当する予定のある医師を対象
- コロナ禍以後は、講義をe-learning(オンデマンド)で実施、さらに法医解剖等の見学実習1日

※令和4年度以降は希望者による追加講義(対面型)も実施

- 法医解剖の見学実習には全国の大学法医学教室が協力
- 新たに検視立会業務に就く医師には、本研修もしくは同等の研修の修了者であることを求めることも検討

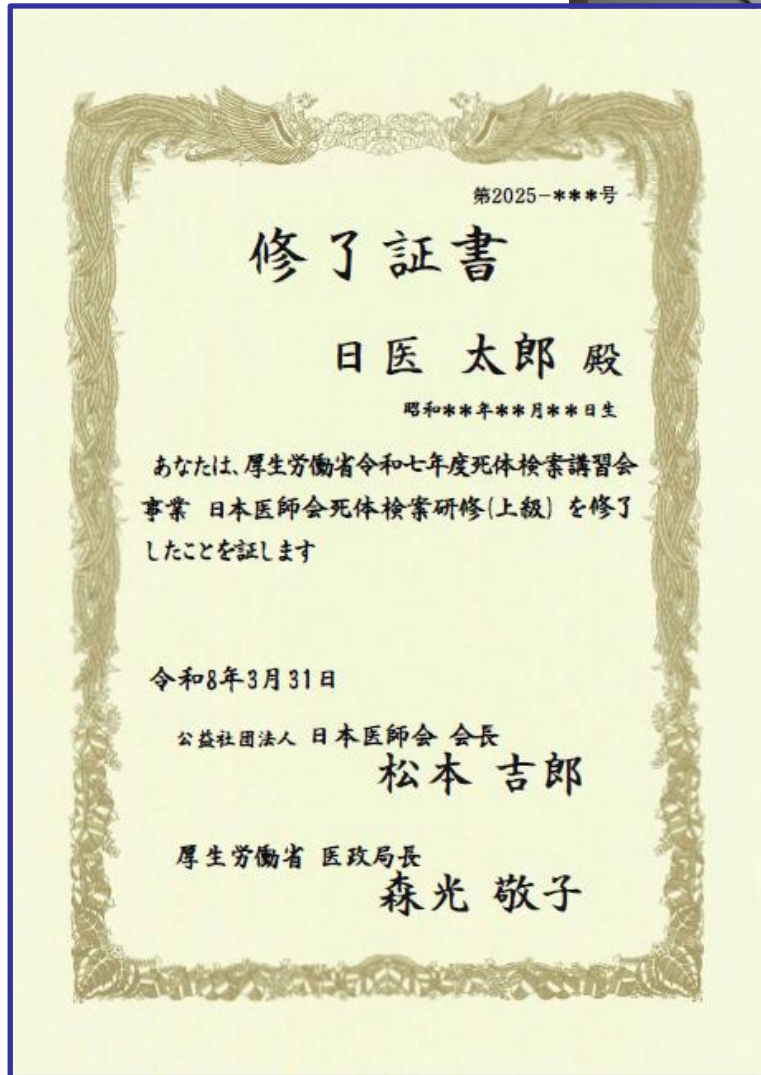
★令和7年度は12月5日～8年2月25日の間に実施



上級研修会 ～主なe-learning科目と担当講師(令和7年度)～

1. わが国の死因究明制度	木下 博之	(科学警察研究所)
2. 死体現象と死後経過時間推定	池松 和哉	(長崎大学)
3. 窒息死(総論) 窒息死(各論)	池松 和哉	(長崎大学)
4. 死亡診断書・死体検案書の作成上の留意点 死体検案の実際と検案の留意点	井濱 容子	(横浜市立大学)
5. 損傷(総論) 損傷(各論)	近藤 稔和	(和歌山県立医科大学)
6. 死因論	近藤 稔和	(和歌山県立医科大学)
7. 異常環境死	清水 恵子	(旭川医科大学)
8. 内因性急死	佐藤 貴子	(大阪医科薬科大学)
9. 在宅死、入浴死	臼元 洋介	(九州大学)
10. 家庭内虐待	高宮 正隆	(岩手医科大学)
11. 乳幼児死亡	池田 知哉	(佐賀大学)
12. 中毒死	木下 博之	(科学警察研究所)
13. 死亡時画像診断	岩瀬博太郎	(千葉大学)

上級研修会



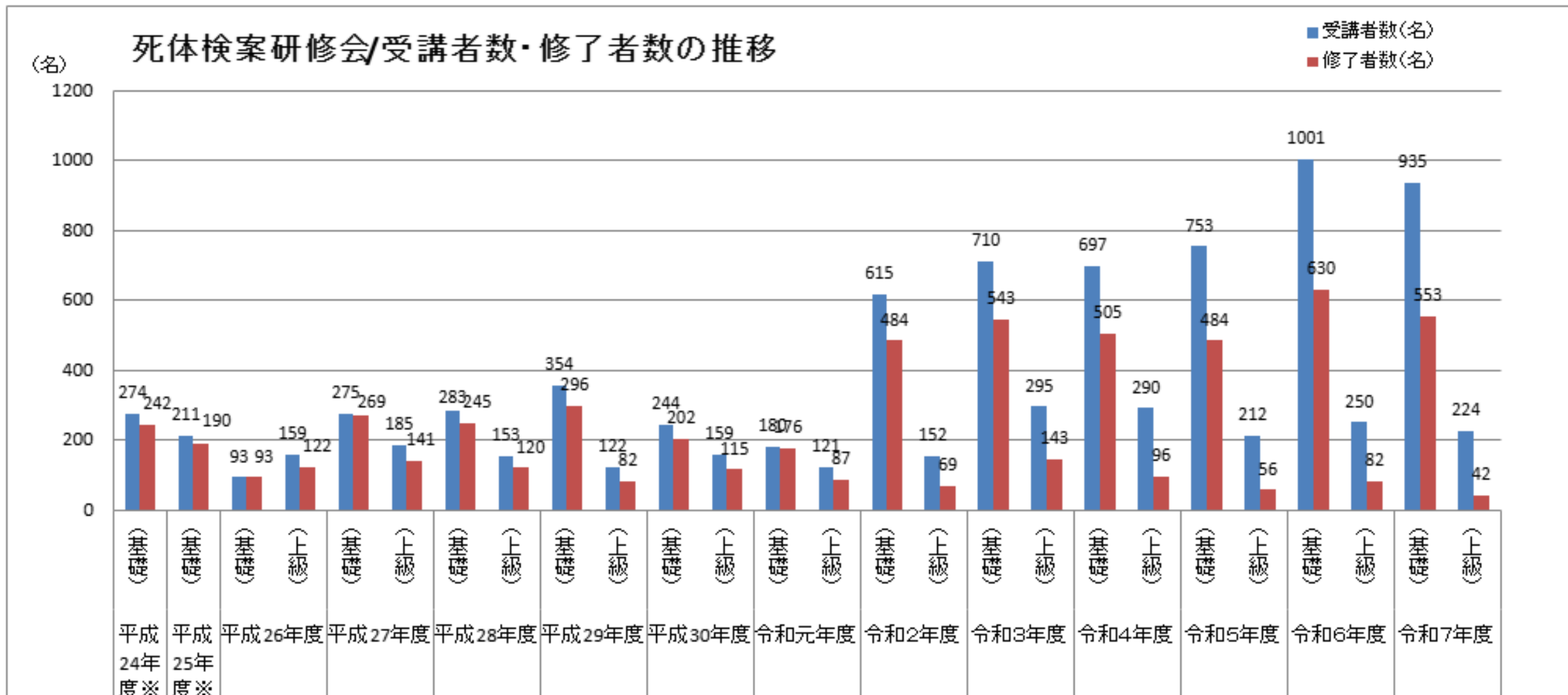
修了証書



e-learning導入前の集合研修
愛知県医師会館



集合研修・
総合質疑応答
令和8年2月8日
日本医師会館



受講者数・修了者数の累計

	受講者 総数(名)	修了者 総数(名)	修了率(%)
死体検案研修会(基礎)	6,625	4,912	74.1%
死体検案研修会(上級)	2,322	1,155	49.7%

日本医師会における「警察活動に協力する医師」の組織化

○各都道府県医師会に警察活動に協力する医師の部会を設置

→従来の各県警察医会に代わり、医師会の部会として設置

※ただし、既存の警察医会などのしくみを極力活用する

→地元の警察本部との緊密な連携を図る

→警察からの依頼により警察医、警察協力医等を選任・派遣

○日本医師会で警察活動に協力する医師の連絡協議会を開催

→各都道府県医師会の「部会」の全国組織として年一回開催

→「総会」と「学術大会」の要素を含むものとする

○日本医師会に警察活動への協力業務について検討する委員会を設置

→警察協力医業務をめぐる諸問題の改善、警察との連絡調整を目的とする

→ブロック代表を中心とした委員。内閣府、警察庁、厚労省等のオブザーブ。

○医師会が開催する「死体検案研修」による質の担保

→特に検視に協力する医師には、高度な研修修了を求める



日医君
(日本医師会イメージキャラクター)

ご清聴ありがとうございました

令和8年9月30日(水)
死因究明等推進計画検証等推進会議